

近畿地方整備局
同時発表

NEWS RELEASE



国土交通省

国土交通省 近畿運輸局

(所属) 交通環境部 物流課
(担当) 内山、田畑
(電話) 06-6949-6410

平成 24 年 1 月 13 日

関空の貨物便就航路線ニーズ調査結果 ～航空物流ネットワークの更なる充実に向けて～

関西の産学官で組織する国際物流戦略チーム(本部長:森 詳介 公益社団法人関西経済連合会会長)では、関西国際空港の航空物流ネットワークの更なる構築を目指し、一昨年、昨年に引き続き、関西企業が必要とする関空の貨物便路線に関するニーズ調査を行い、その結果を取りまとめたので発表します。

- 調査期間
平成23年9月7日～9月30日
- 調査対象
関西に生産拠点を有する主要企業・物流拠点を有する主要企業等
- 回答企業数
103社
- 調査結果
別紙のとおり

※本調査は近畿運輸局が事務局の一員となっている、「国際物流戦略チーム」の取組の一環として実施されるものです。詳細については、下記までお問い合わせ下さい。

関西国際空港株式会社 航空営業部 笹部・明野・津村 TEL 072-455-2038

配布先
青灯クラブ
大阪経済記者クラブ
近畿電鉄記者クラブ
大阪海運記者会
陸運記者会(トラック部会)
海事関係業界プレス

関西国際空港の航空物流ネットワーク拡大について
2011 年度貨物便就航路線ニーズ・ご要望調査
結果報告書

平成 24 年 1 月 13 日

国際物流戦略チーム

関空国際物流効率化推進協議会

調査概要

○調査目的

関西国際空港は、2011年冬期スケジュールのピーク月である2012年3月において、旅客便と貨物便の合計が週692便と過去最高となり、貨物便は週172便と過去4番目という計画になりました。その要因として、2009年度、2010年度と「貨物便就航路線ニーズ調査」を計2回実施しており、その結果を“真の企業ニーズ”として関西国際空港への貨物便ネットワーク誘致活動に活用してきたことが今回の計画便数に繋がったと考えております。

しかしながら、関西国際空港の国際貨物便ネットワークは、深刻な円高の影響や、長引く景気低迷の影響から関西圏に事業拠点を置く企業のグローバルな生産・販売活動に充分対応しきれていない面も依然として存在していることから、これらネットワークを拡大し、地域の企業から望まれる路線がより効率的、緊密かつ適切に結ばれることは必要不可欠であります。

このような課題を受け、関西の産官学で組織する国際物流戦略チームでは、昨年引き続き関西企業が必要とする関西国際空港と空港の貨物便路線に関するそれぞれのニーズ調査を行い、今般その結果をとりまとめましたので下記のとおり発表いたします。

○調査内容

- 1 各社の物流の現況
- 2 関西空港の貨物便就航路線として各社の物流に必要な路線
- 3 各社の航空物流動向に関する2011年度後半以降の見通し
- 4 その他、関西国際空港の航空物流利用に対するご意見・ご要望

○調査実施主体

国際物流戦略チーム・関空国際物流効率化推進協議会
(公益社団法人関西経済連合会・大阪府・関西国際空港株式会社)

○調査対象

関西に生産拠点を有する主要企業・物流拠点を有する主要企業等
(調査配布あたっては以下の各団体様のご協力をいただきました)
公益社団法人関西経済連合会・大阪商工会議所・京都商工会議所

○調査期間

平成23年9月7日～9月30日

○ご回答企業数

103社

○調査結果（概要）

1. 貴社の物流の現況・回答結果

- ・航空輸送を利用する企業の約9割が自社の貨物が使用する空港を把握しており、使用する空港を把握している企業の約8割が使用する空港を選択していること、さらに使用する空港を選択している企業のほとんどが関西空港を選択している。
- ・航空輸送を利用する企業の約1割が自社の貨物が使用する空港を把握していない。また、使用する空港を把握している企業においても約2割が使用空港を選択していない。
- ・関空を選択している理由として一番多いのは「空港までのアクセスが良い」であり、関空を選択しない理由として一番多いのは、仕向地へ又は仕出地からの直行便が不足していることである。

2. 貨物便路線のご要望・回答結果

【方面別ニーズ・ご要望の結果】

- ・関空から欧米方面への就航・増便要望がほぼ半数を占め、次いで中国、東南アジアなどアジア方面へのニーズが存在。
- ・出発便と到着便の要望割合は、出発便が64.6%、到着便が35.4%であり、前回同様に輸出向けの便を求める声が多い。

【空港発着時間帯別・ご要望の結果】

- ・深夜から早朝にかけての時間帯への要望が多く、24時間空港のメリットを活かした路線への要望が多い。

【方面別、空港発着時間帯別・ご要望の結果】

- ・全ての時間帯において、北米・欧州・中国方面への路線の要望が多い。就航・増便を求める声が増加傾向にある東南アジアも全ての時間帯において、一定の要望がある。

【都市別・ご要望の結果】

（北米方面）

- ・北米路線における要望都市は、ニューヨーク、ロサンゼルス、アトランタ、シアトル、サンフランシスコが件数の多い順番となっている。
- ・北米路線における時間帯は、早朝昼間時間帯（06:00～11:59）と深夜早朝時間帯（23:00～05:59）への要望が多い。

（欧州方面）

- ・欧州路線における要望都市は、フランクフルト、ロンドン、アムステルダム、チューリヒ、ミラノ、ルクセンブルクが件数の多い順番となっている。
- ・欧州路線における時間帯は、夜間深夜時間帯（18:00～22:59）への要望が一番多いが、全時間帯にまんべんなく要望がある。

（中国方面）

- ・中国路線における要望都市は、上海、香港、厦門、深圳が件数の多い順番となっている。
- ・中国路線における時間帯は、早朝昼間時間帯（06:00～11:59）と深夜早朝時間帯（23:00～05:59）への要望が多い。

(東南アジア方面)

- ・ 東南アジア路線における要望都市は、バンコク、ジャカルタ、ホーチミン、ハノイ、シンガポールが件数の多い順番となっている。
- ・ 東南アジア路線における時間帯は、早朝昼間時間帯（06:00～11:59）が5割弱を占める程、圧倒的に要望が多い。

(東アジア方面)

- ・ 東アジア路線における要望都市は、台北とソウル、高雄と釜山が件数の多い順番となっている。
- ・ 東アジア路線における時間帯は、早朝昼間時間帯（06:00～11:59）と深夜早朝時間帯（23:00～05:59）への要望が多い。

(その他方面)

- ・ その他の要望都市は、前回に引き続き、ニューデリー、ハイデラバード、コルカタ等のインド方面への要望が多く、イスタンブール、テルアビブといった中東方面やカイロ、ナイジェリアといったアフリカ方面等、多面的にも要望がある。
- ・ その他の時間帯は、早朝昼間時間帯（06:00～11:59）、夜間深夜時間帯（18:00～22:59）、深夜早朝時間帯（23:00～05:59）にまんべんなく要望がある。

3. 航空物流動向の 2011 年度後半以降の見通し・回答結果

- ・ 全体の約 7 割の企業が前年並以上の見通しであると回答。

1. 貴社の物流の現況

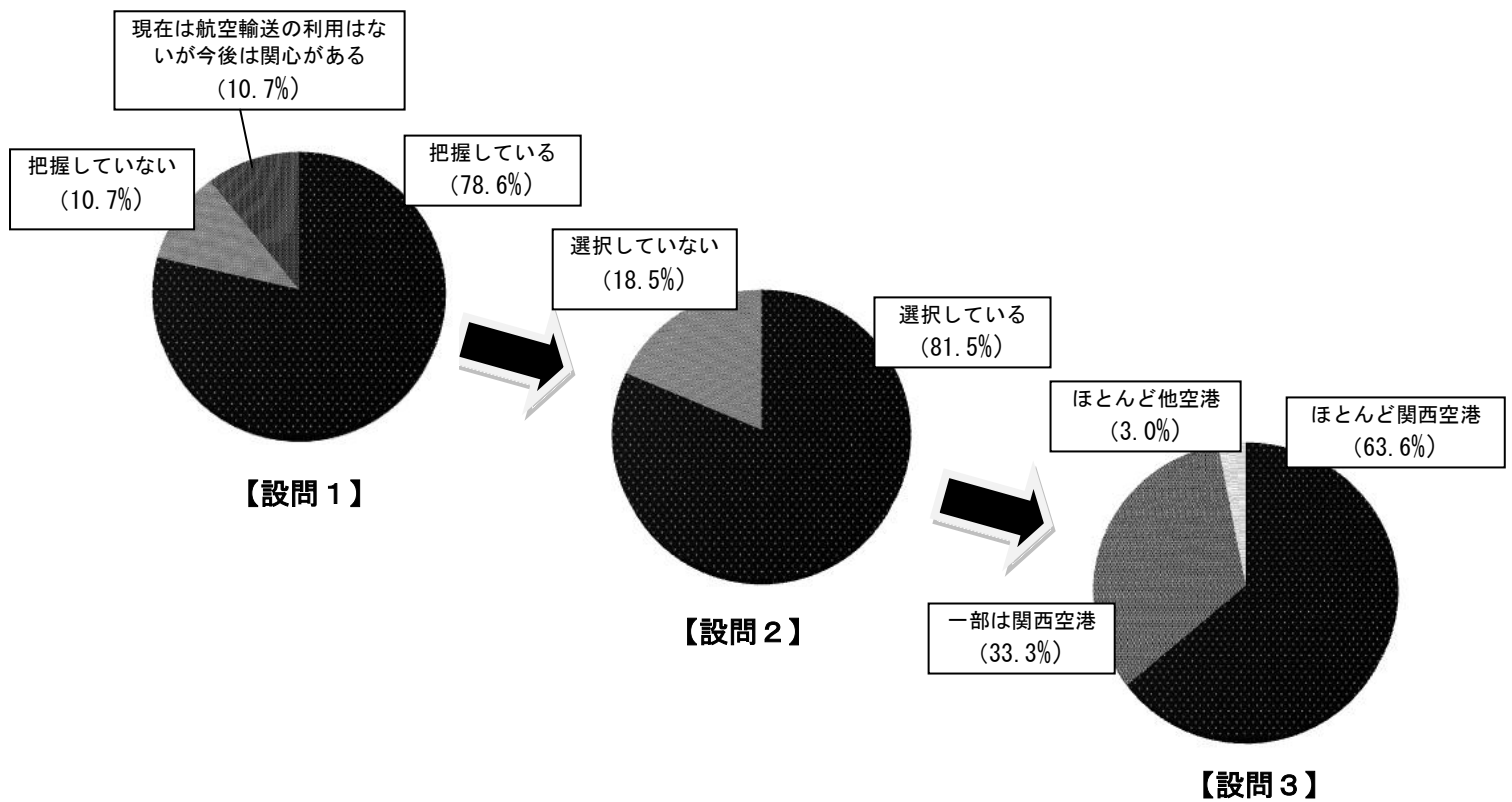
【設問1】 貴社の貨物がどの空港を使用して輸送されているか把握していますか？

【設問2】 貴社の貨物がどの空港を使用するか選択していますか？

(設問1で「把握している」と答えた方)

【設問3】 貴社が選択している空港は関西国際空港（関空）ですか？

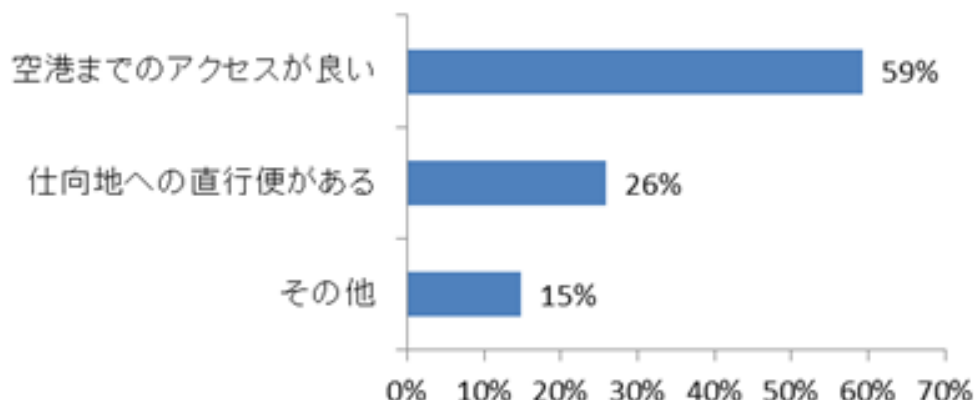
(設問2で「選択している」と答えた方)



【設問1】において、「現在は航空輸送の利用はないが今後は関心がある」と答えた企業を除くと、航空輸送の利用を行う企業の約9割が使用空港を把握しており、把握している企業の約8割が使用空港を選択しているという結果になった。

【設問3】において、「ほとんど関西空港」「一部は関西空港」と回答した企業が合わせて約97%であり、使用空港を選択している企業のほとんどが関西空港を選択している。

【設問4-A】 関空を選択している理由は何ですか？（複数回答可）
（設問3で「ほとんど関空を選択している」と答えた方）

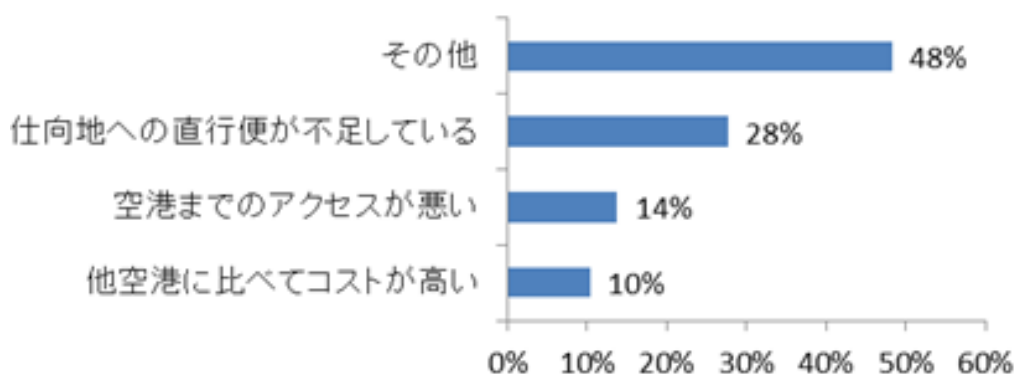


関空を選択している理由としては、「空港までのアクセスが良い」が最も多く、続いて「仕向地への直行便がある」、「その他」の順に回答が多い。

＜その他のご意見＞

- ・ 製造拠点及び保管場所が関西にある。
- ・ 貨物集約による運賃削減のため。
- ・ 大阪に拠点を置く企業なので、関西で扱う商材は必然的に関空を利用している。
- ・ 地元にある関西国際空港がもっと活性化してほしいと考えている。

【設問4-B】 関空を選択しない理由は何ですか？（複数回答可）
（設問3で「一部は関空を選択している」「ほとんど他空港を選択している」と答えた方）



関空を選択しない理由としては、「仕向地への直行便が不足している」、「空港までのアクセスが悪い」、「他空港に比べてコストが高い」、「その他」の順に回答が多い。

<その他のご意見>

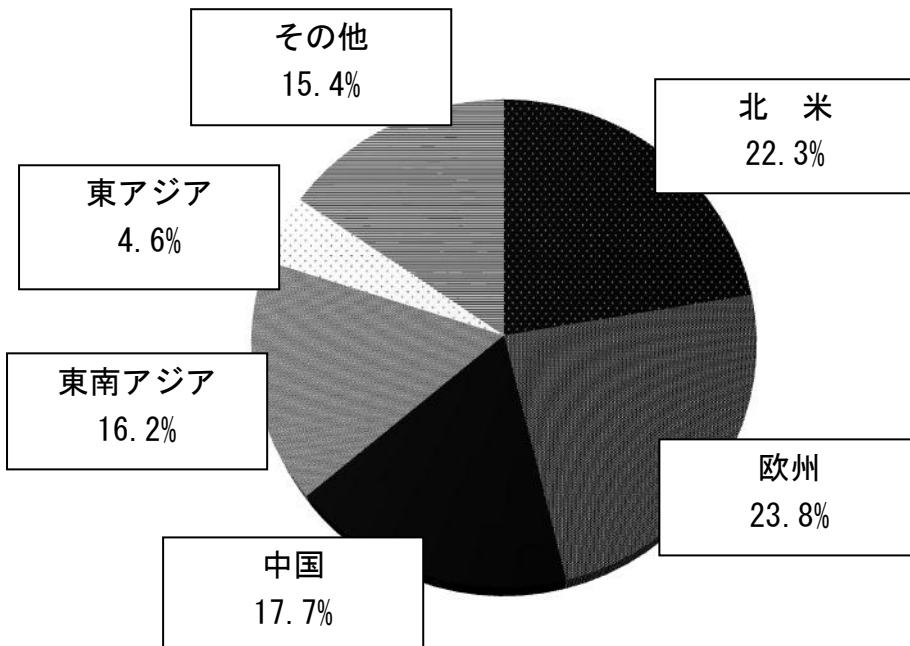
- ・（輸入について）仕出地からの直行便が不足している。
- ・生産拠点／販売拠点に近い国際空港を利用している。

関空から各仕向地へのネットワーク（直行便）の充実と空港までのアクセスを重要視する意見が多く、更なるネットワークの拡大が関空が選ばれる要素となる可能性が高い。

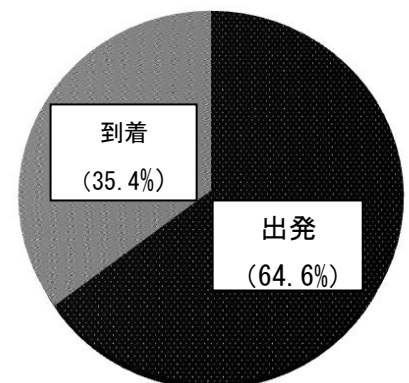
2. 貨物便路線のご要望

1. 【方面別ニーズ・ご要望の結果】

関空から欧米方面への就航・増便要望がほぼ半数を占め、次いで中国、東南アジアなどアジア方面へのニーズが存在。



【出発・到着の割合（全回答数）】



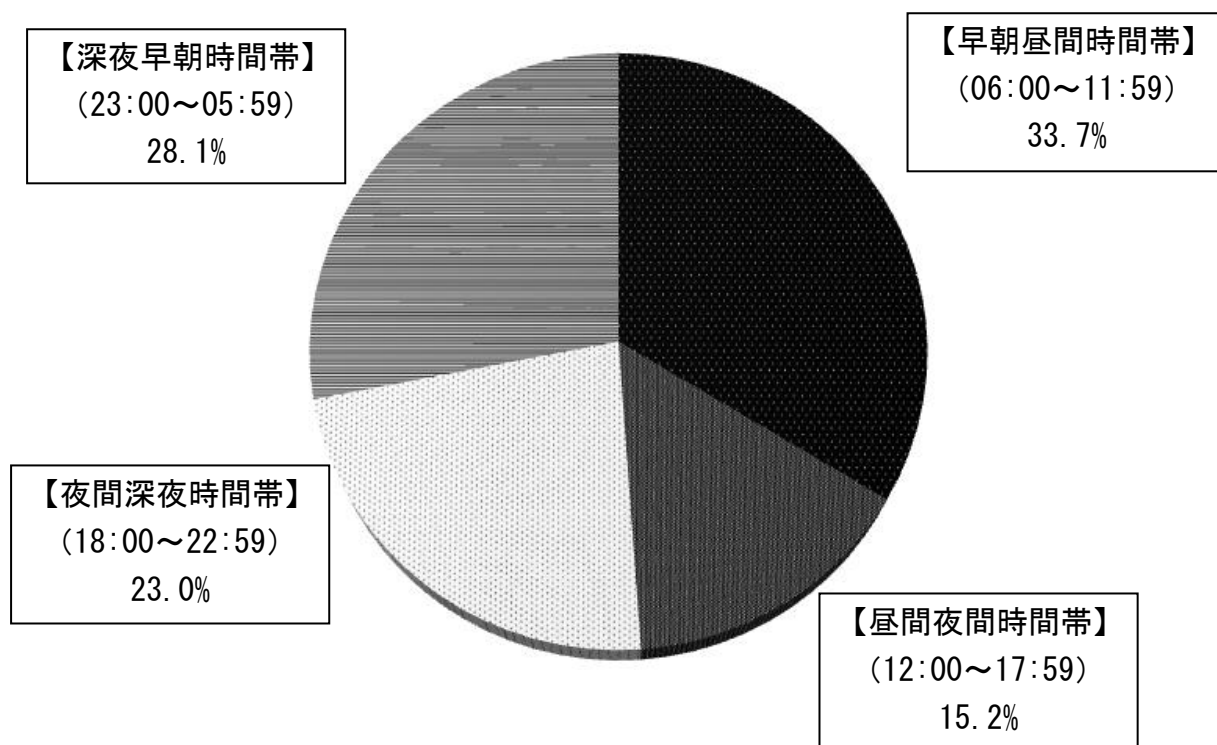
【前回、前々回との比較】

	2011年度	2010年度	2009年度
北米	22.3%	25.9%	25.3%
欧州	23.8%	24.8%	24.4%
中国	17.7%	21.1%	21.0%
東南アジア	16.2%	14.0%	14.3%
東アジア（中国除く）	4.6%	8.7%	8.5%
その他	15.4%	5.5%	6.5%

- ・これまでの調査結果を振り返ると、北米、欧州方面に安定した貨物便路線の要望がある結果となった。
- ・2011年度調査結果では、東南アジア方面への要望が増加傾向にある。
- ・また、その他方面への要望が増えており、様々な方面への路線を求める声が出てきている。
- ・なお、過去の調査結果と比較して回答企業数に変化はあるものの、方面別ニーズの要望は概ねこれまでと同じ傾向にある。

2. 【空港発着時間帯別・ご要望の結果】

最も要望数が多い時間帯は早朝昼間時間帯（06:00～11:59）であり、次いで、深夜早朝時間帯（23:00～05:59）、夜間深夜時間帯（18:00～22:59）、そして昼間夜間時間帯（12:00～17:59）が要望数の多い順となった。前回は深夜早朝時間帯が全体の約45%を占め、圧倒的であったが、今回早朝昼間時間帯が逆転する結果となった。

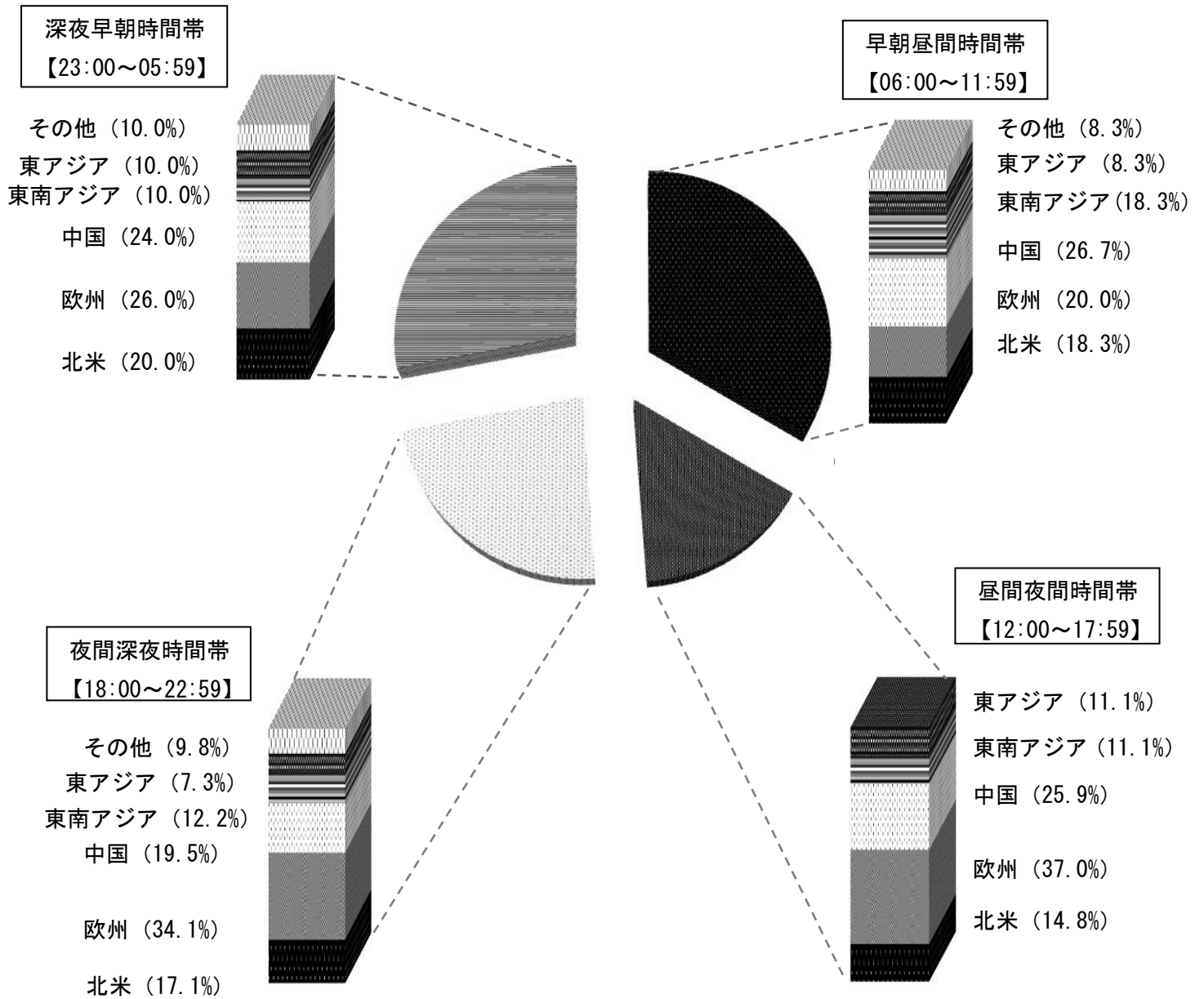


【前回との比較】

	2011年度	2010年度
早朝昼間時間帯	33.7%	22.3%
昼間夜間時間帯	15.2%	13.1%
夜間深夜時間帯	23.0%	19.5%
深夜早朝時間帯	28.1%	45.1%

3. 【方面別、空港発着時間帯別・ご要望の結果】

全ての時間帯において、北米・欧州・中国方面への路線の要望が多い。就航・増便を求める声が増加傾向にある東南アジアも全ての時間帯において、一定の要望がある。



4. 【都市別・ご要望の結果】

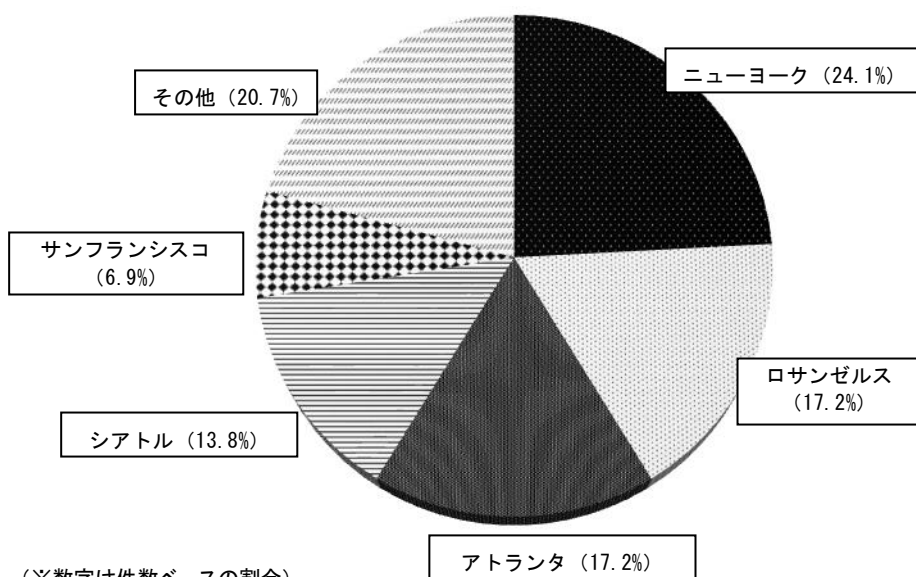
① 【方面別：北米】

- ・北米路線における要望都市は、ニューヨーク、ロサンゼルス、アトランタ、シアトル、サンフランシスコが件数の多い順番となっている。ニューヨークとロサンゼルスは前回に引き続き要望が多い。（前回ニューヨークは3番目、ロサンゼルスは2番目に件数が多かった。）
- ・北米路線における時間帯は、早朝昼間時間帯（06:00～11:59）と深夜早朝時間帯（23:00～05:59）への要望が多い。

<ご意見>

デイリーでなくてもよいのでニューヨーク便が増えると非常に嬉しい。

〔Ⅰ. 北米方面へのご要望結果〕



(※数字は件数ベースの割合)

【要望都市数 11 都市】

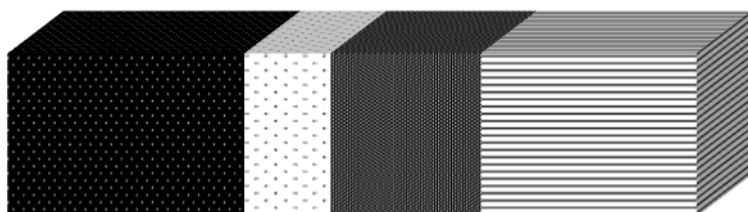
要望都市	要望件数
ニューヨーク	24.1%
ロサンゼルス	17.2%
アトランタ	17.2%
シアトル	13.8%
サンフランシスコ	6.9%
フロリダ	3.4%
ダラス	3.4%
サンディエゴ	3.4%
ポートランド	3.4%
グアム	3.4%
トロント	3.4%

〔 2010 年度
調査結果 TOP5 〕

要望都市	要望件数
シカゴ	27.7%
ロサンゼルス	21.4%
ニューヨーク	13.3%
アトランタ	12.2%
ダラス	5.1%

〔Ⅱ. 北米方面への時間帯別ご要望結果〕

06:00-11:59 (34.4%)	12:00-17:59 (12.5%)	18:00-22:59 (21.9%)	23:00-05:59 (31.3%)
------------------------	------------------------	------------------------	------------------------



北米	比率
06:00-11:59	34.4%
12:00-17:59	12.5%
18:00-22:59	21.9%
23:00-05:59	31.3%

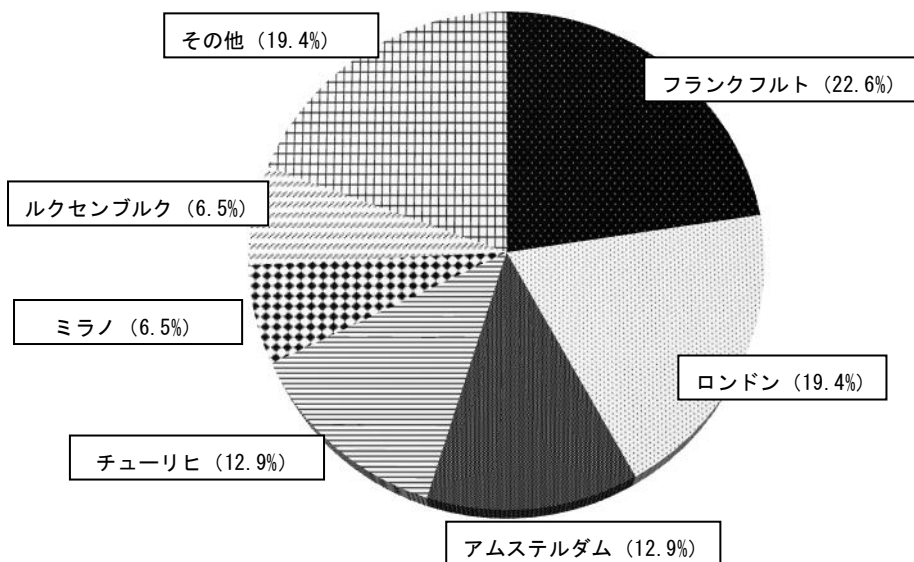
②【方面別：欧州】

- ・ 欧州路線における要望都市は、フランクフルト、ロンドン、アムステルダム、チューリヒ、ミラノ、ルクセンブルクが件数の多い順番となっている。フランクフルトとアムステルダムは前回に引き続き要望が多い。（前回フランクフルトは1番目、アムステルダムは2番目に件数が多かった。）
- ・ 欧州路線における時間帯は、夜間深夜時間帯（18:00～22:59）への要望が一番多いが、全時間帯にまんべんなく要望がある。

<ご意見>

- ・ ヨーロッパ行の貨物便を増やして欲しい
- ・ 経済状況から厳しいと思うが、ヨーロッパ便の更なる就航を引き続きお願いする
- ・ スイス航空、エンバイロテイナー利用の航空会社を希望する。

〔 I . 欧州方面へのご要望結果〕



(※数字は件数ベースの割合)

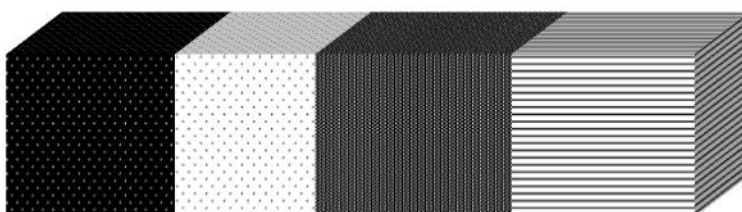
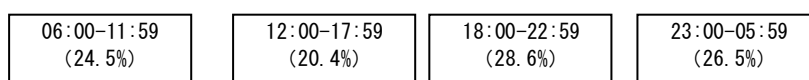
【要望都市数 12 都市】

要望都市	要望件数
フランクフルト	22.6%
ロンドン	19.4%
アムステルダム	12.9%
チューリヒ	12.9%
ミラノ	6.5%
ルクセンブルク	6.5%
ヘルシンキ	3.2%
バルセロナ	3.2%
ローマ	3.2%
マンチェスター	3.2%
ベルギー	3.2%
ウイーン	3.2%

〔 2010 年度 調査結果 TOP5 〕

要望都市	要望件数
フランクフルト	27.7%
アムステルダム	11.7%
パリ	11.7%
ミラノ	10.6%
ロンドン	7.4%

〔 II . 欧州方面への時間帯別ご要望結果〕

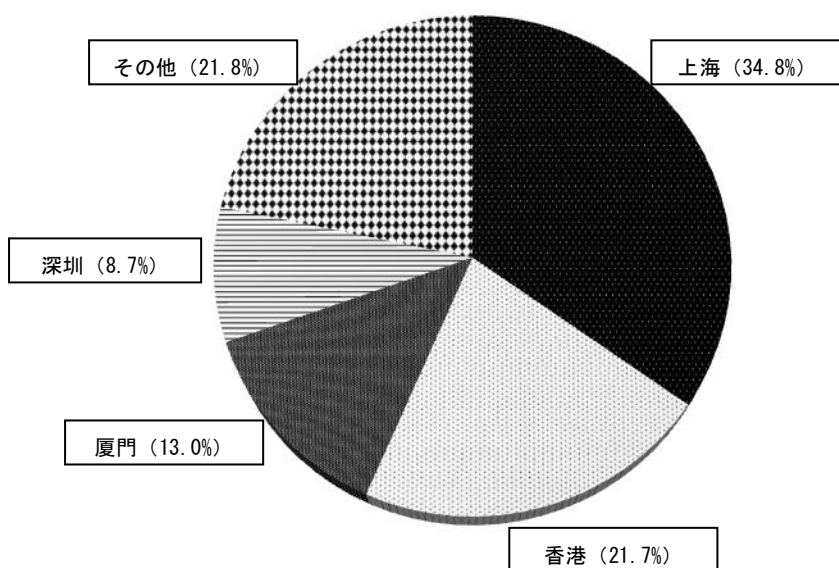


欧州	比率
06:00-11:59	24.5%
12:00-17:59	20.4%
18:00-22:59	28.6%
23:00-05:59	26.5%

③【方面別：中国】

- ・中国路線における要望都市は、上海、香港、厦門、深圳が件数の多い順番となっている。上海と香港は前回も1番目と2番目に要望が多い。
 - ・中国路線における時間帯は、早朝昼間時間帯（06:00～11:59）と深夜早朝時間帯（23:00～05:59）への要望が多い。
- <ご意見>
- ・6:00～11:59 到着の便は利便性が高いので、要望したい。

〔Ⅰ. 中国方面へのご要望結果〕



【要望都市数 9 都市】

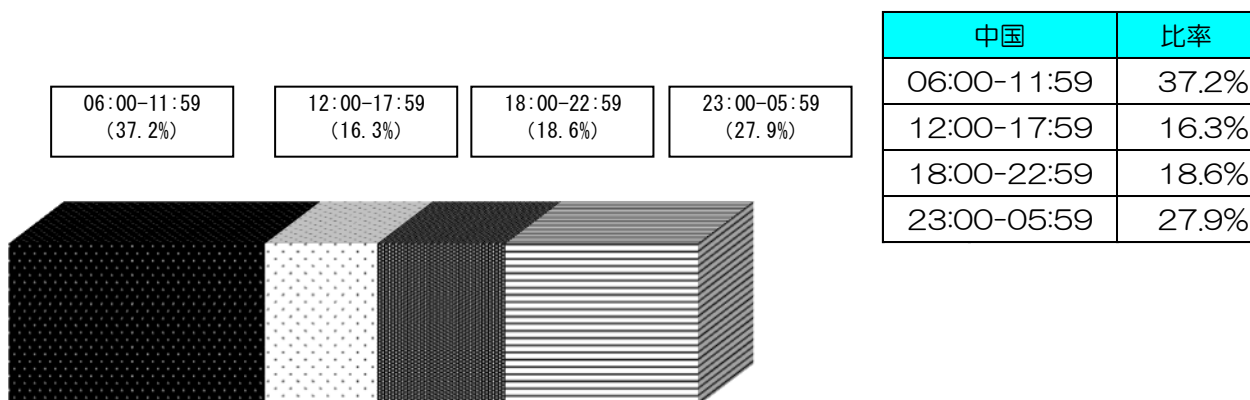
要望都市	要望件数
上海	34.8%
香港	21.7%
厦門	13.0%
深圳	8.7%
北京	4.3%
広州	4.3%
東莞	4.3%
青島	4.3%
武漢	4.3%

〔2010 年度 調査結果 TOP5〕

要望都市	要望件数
上海	50.0%
香港	28.8%
青島	6.3%
大連	5.0%
広州	2.5%

(※数字は件数ベースの割合)

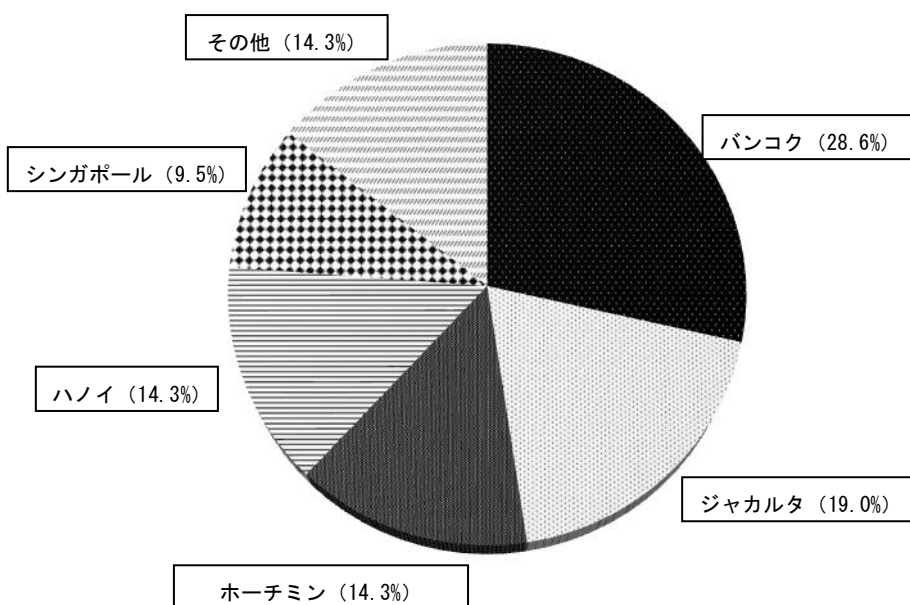
〔Ⅱ. 中国方面への時間帯別ご要望結果〕



④【方面別：東南アジア】

- ・東南アジア路線における要望都市は、バンコク、ジャカルタ、ホーチミン、ハノイ、シンガポールが件数の多い順番となっている。バンコクは、前回も1番目に要望が多かった。
 - ・東南アジア路線における時間帯は、早朝昼間時間帯（06:00～11:59）が5割弱を占める程、圧倒的に要望が多い。
- <ご意見>
- ・東南アジアから東アジアにかけての地域のフライトを就航させてほしい。

【I. 東南アジア方面へのご要望結果】



【要望都市数 8 都市】

要望都市	要望件数
バンコク	28.6%
ジャカルタ	19.0%
ホーチミン	14.3%
ハノイ	14.3%
シンガポール	9.5%
マニラ	4.8%
マレーシア(※)	4.8%
ペナン	4.8%

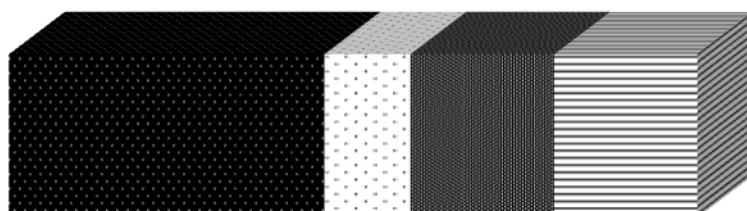
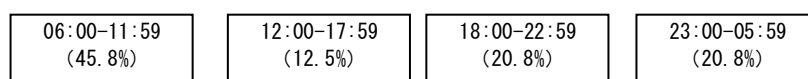
※都市名の記載なし

2010 年度 調査結果 TOP5

要望都市	要望件数
バンコク	39.6%
シンガポール	20.8%
クアラルンプール	13.2%
ジャカルタ	9.4%
ハノイ/ペナン	3.8%

(※数字は件数ベースの割合)

【II. 東南アジア方面への時間帯別ご要望結果】

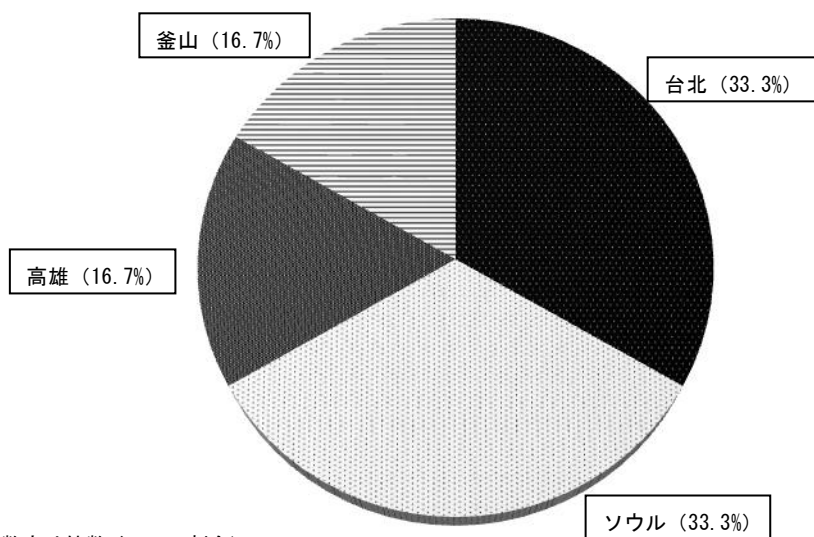


東南アジア	比率
06:00-11:59	45.8%
12:00-17:59	12.5%
18:00-22:59	20.8%
23:00-05:59	20.8%

⑤【方面別：東アジア】

- ・東アジア路線における要望都市は、台北とソウル、高雄と釜山が件数の多い順番となっている。前回と同様の結果であり、東アジア路線における要望都市は固定していると考えられる。
- ・東アジア路線における時間帯は、早朝昼間時間帯（06:00～11:59）と深夜早朝時間帯（23:00～05:59）への要望が多い。

〔Ⅰ. 東アジア方面へのご要望結果〕



(※数字は件数ベースの割合)

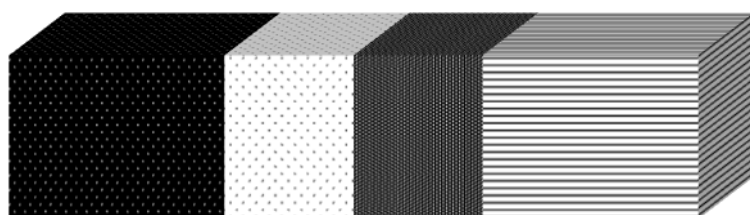
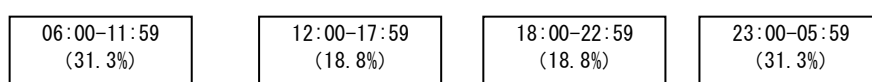
【要望都市数 4 都市】

要望都市	要望件数
台北	33.3%
ソウル	33.3%
高雄	16.7%
釜山	16.7%

〔 2010 年度 調査結果 TOP5 〕

要望都市	要望件数
台北	51.5%
ソウル	39.4%
高雄	6.1%
釜山	3.1%

〔Ⅱ. 東アジア方面への時間帯別ご要望結果〕



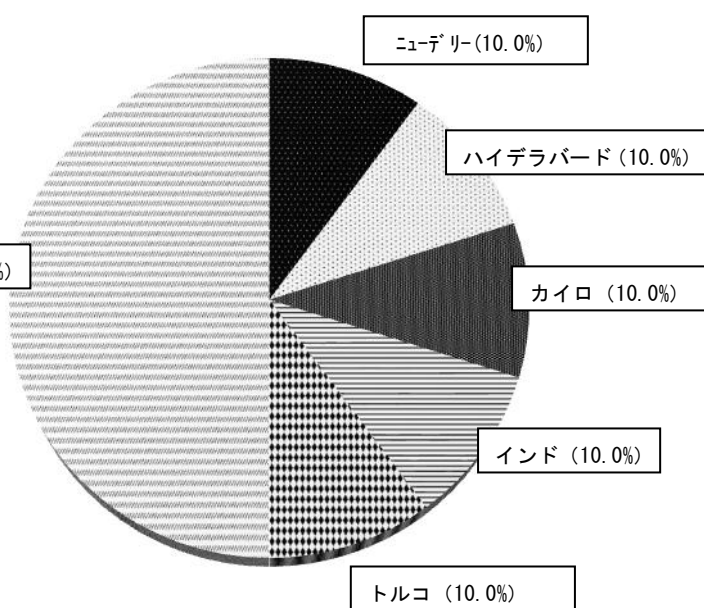
東アジア	比率
06:00-11:59	31.3%
12:00-17:59	18.8%
18:00-22:59	18.8%
23:00-05:59	31.3%

⑥【方面別：その他】

- ・その他の要望都市は、前回に引き続き、ニューデリー、ハイデラバード、コルカタ等のインド方面への要望が多く、イスタンブール、テルアビブといった中東方面やカイロ、ナイジェリアといったアフリカ方面等、多面的にも要望がある。
- ・その他の時間帯は、早朝昼間時間帯(06:00～11:59)、夜間深夜時間帯(18:00～22:59)、深夜早朝時間帯(23:00～05:59)にまんべんなく要望がある。

【Ⅰ. その他方面へのご要望結果】

【要望都市数 15 都市】



(※数字は件数ベースの割合)

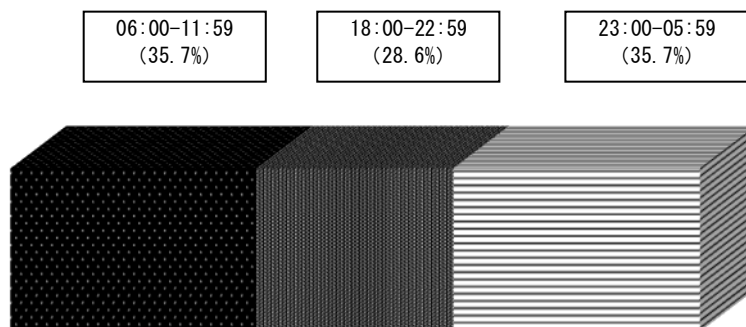
要望都市	要望件数
ニューデリー	10.0%
ハイデラバード	10.0%
カイロ	10.0%
インド(※)	10.0%
トルコ(※)	10.0%
コルカタ	5.0%
ダッカ	5.0%
イスタンブール	5.0%
テルアビブ	5.0%
ナイジェリア(※)	5.0%
ウランバートル	5.0%
ブラジル(※)	5.0%
メルボルン	5.0%
福岡	5.0%
北海道	5.0%

※都市名の記載なし

2010年度
調査結果 TOP5

要望都市	要望件数
ニューデリー	19.0%
ドバイ	9.5%
チェンナイ	9.5%
メルボルン	9.5%
ムンバイ	9.5%

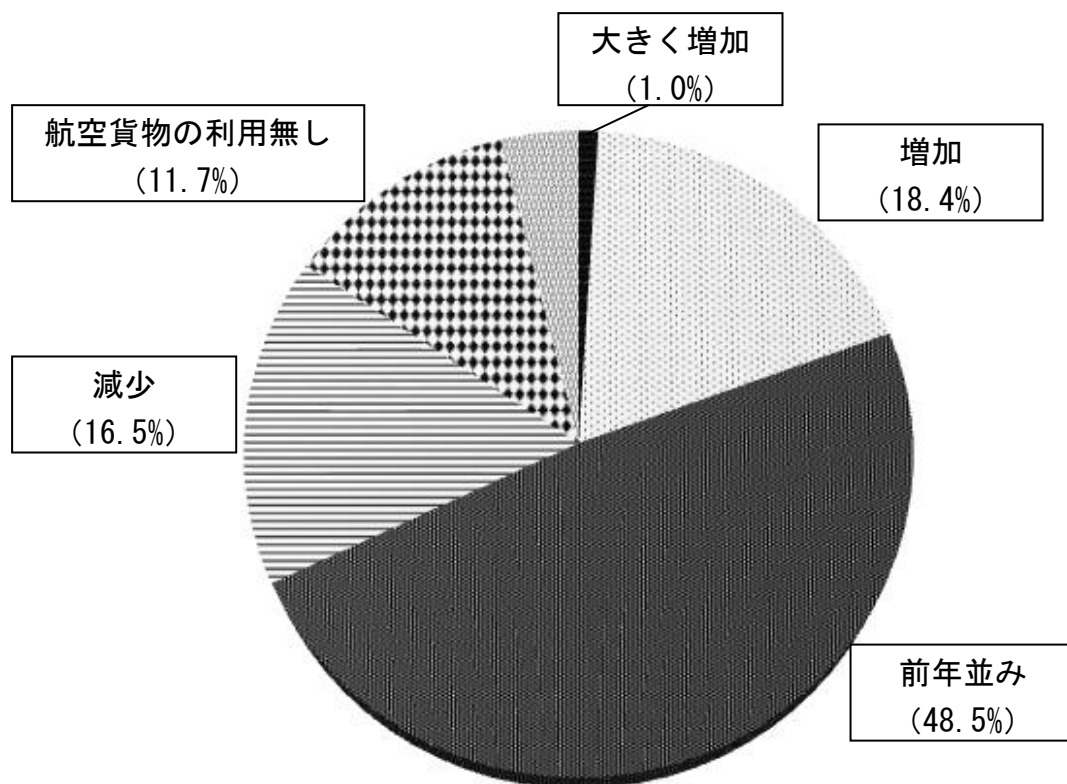
【Ⅱ. その他方面への時間帯別ご要望結果】



その他	比率
06:00-11:59	35.7%
12:00-17:59	0.0%
18:00-22:59	28.6%
23:00-05:59	35.7%

3. 航空物流動向の 2011 年度後半以降の見通し・回答結果

2011 年度下期以降の航空物流の見通しとしては、「大きく増加」、「増加」の見込みであると回答した企業が合わせて全体の 2 割弱を、「前年並み」の見込みであると回答した企業が全体の 5 割弱をそれぞれ占めており、7 割近くの企業は前年並み以上を見込むという回答結果になった。



4. その他ご意見・ご要望

(※重複する回答をまとめた上、代表的な回答を記載しております。)

○ 関空の貨物便ネットワークに対するご意見

- ・ 海外からの到着便を増やしてほしい。
- ・ 世界各地から、6:00~11:59 到着の便を増やしてほしい。(利便性が高い。)
- ・ 深夜便の主要都市向け直行便が少ない。深夜便は輸送リードタイムの短縮に効果があるので、深夜便の増便に期待している。
- ・ エンバイロテイナー利用の航空会社を希望する。
- ・ 東南アジアから東アジアにかけての地域のフライトを就航させてほしい。
- ・ 今後経済発展が予想される新興国へむけた路線直行便等がほしい。
- ・ ヨーロッパ便の更なる就航をお願いする。
- ・ 医薬品輸送を強化していくのであれば、欧米への直行便は必須である。
- ・ 生鮮輸出の促進のために、午前中に関空へ搬入⇒通関⇒フライト⇒翌朝に現地で輸入通関というスケジュールでの輸送が出来る便をもっと増やしてほしい

○ サービスに関するご意見

- ・ Kix-Medica のような定温倉庫は温度管理を扱う会社にとって魅力的である。
- ・ 定温倉庫の予約利用ができるようにしてほしい。
- ・ 医薬品業界に特化したセミナーの開催を期待している。
- ・ まだ関空を使ったことがない人に向けて認知度向上のため、積極的な情報発信が必要である。

○ 高コスト・料金等に対するご意見

- ・ ターミナルチャージの見直しをしてほしい。
- ・ 関西国際空港を利用する負担コストの削減を追求してほしい。
- ・ 航空便は緊急時にしか利用していない。やはりコスト面での競争力が必要である。

貨物便就航路線ニーズ・ご要望調査 ご回答企業名（※）

（50音順）

※企業名の公表をご承諾いただきました企業様のみを掲載しております。

N I 帝人商事(株)、エムジーファーマ(株)、オムロン(株)、関空運輸(株)、(株)京都科学、楠本化成(株)、(株)クラレ、ケイラインロジスティックス(株)、コカ・コーラウエスト(株)、塩野義製薬(株)、(株)島津製作所、シャープ(株)、住友金属工業(株)、大成機工(株)、大日本スクリーン製造(株)、(株)タカセコーポレーション、テイカ(株)、DSP五協フード&ケミカル(株)、DS ファーマバイオメディカル(株)、東洋電機製造(株)、(株)ニチゾウテック、日新電機(株)、日精(株)、パナソニック(株)、阪和興業(株)、阪和電子工業(株)、(株)ひろ、ファイザー(株)、古野電気(株)、(株)堀場製作所、村田機械(株)、(株)村田製作所、(株)ヤクルト本社、郵船ロジスティクス(株)、(株)ユタカ、(株)レザック、レンゴー(株)、(株)ロジスティクス・サポート&パートナーズ

公表可	38社
ほか	65社
計	103社

以上